

# 自動車用ヘッドランプカバーの開発

(光触媒低温真空成膜技術によりカバー内部を処理) 産[市光工業(株)]との共同研究

現在、ウレタン樹脂系薬剤で防曇処理

(高価、持続性に問題)

光触媒処理品(従来は、300℃で加熱成膜)

(紫外線照射により持続性あり)

ヘッドランプカバーはポリカーボネート樹脂

(耐熱温度、130℃)

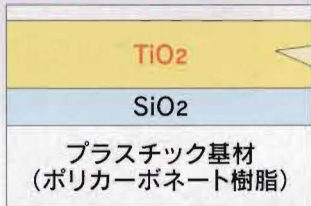
イオンビームアシスト真空蒸着法により

低温(50℃)で光触媒活性膜を実現



イオンビームアシスト真空蒸着法

プラスチック基材上への光触媒防曇処理!



イオンビームアシスト真空蒸着法により、低温で光触媒膜を作製でき、プラスチックにもコート可能。



(他種プラスチック製品についても適応可)